

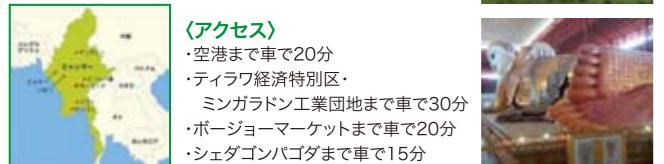
# HOTEL KAN KAW ホテル ガンゴウ



「ホテル ガンゴウ」は、ミャンマーの最大都市ヤンゴンにあり、ミャンマー初、日系のホテルです。

日本語・英語・ミャンマー語に対応しております。

74室の客室は近代的な設備を備えており、2階の日本食レストラン「鎌倉」では、朝食の和食ビュッフェ、夕食には多彩なメニューの日本料理をお召し上がり頂けます。



■ホームページ・ご予約 <http://www.hotelkankaw.com.mm/>

**HOTEL KAN KAW**  
No(93)A,Hnin Si Kone Street,Ahlon Township,Ynagon,Myanmar  
Phone: 09 31042562, 01 228566 Fax: 01 225208  
E-mail:hotelkankaw@gmail.com  
Managed by Shimokawa Myanmar Company Limited

日本連絡先:下川ビルディング株  
東京都大田区大森北2-3-15-9F Tel03-3761-4123



## 「東京タワー」

言わずと知れた高さ333mの東京を代表する観光名所。1958年10月竣工、同年12月に完工式。正式名称は日本電波塔。自立式鉄塔としては東京スカイツリーに抜かれるまでの約51年半、高さ日本一の地位を保持。半世紀以上、東京のシンボルとして他の追随を許さない東京タワーのように、我らがLCも、地域社会の誰もが知る崇高かつ絶対的な存在であり続けたいものです。



## 11月までの主な行事予定

- 9~10月:ガバナー公式訪問
- 10月8日:ライオンズデー
- 10月24日:環境保全アクティビティ
- 11月9日:ジョー・プレストン国際会長公式訪問
- 11月13~16日:韓国仁川オセアルフォーラム
- 11月25日:第二回キャビネット会議



## 編集後記

ライオンズクラブは、世界レベルで会員の増強が求められています。当委員会もその主旨にそって構成しました。しかし、単に会員を増やすことのみに目標を置かず、10月8日のライオンズデーの意味を今一度確認し、初心にかえりライオニズムを理解した上で奉仕の心を継承して入会いただけるよう編集を致しました。

その主旨が伝わり、本誌が一人でも多くの自由で知性に溢れ情熱的なメンバー増加に役立つことを願っております。

なお、今期の地区ニュースは、全てポケットサイズです。2、3、5号はブック型に、1、4、6号はA3一枚刷りでお届けする予定です。ご期待ください。

広報委員会 委員長 向井 忠義



## 今期広報委員会メンバーのご紹介

L向井忠義 委員長 三鷹LC	L押元正樹 三鷹LC	L桃沢 秀 副委員長 愛宕山LC	L上杉秀樹 豊新LC
L赤尾嘉晃 副委員長 豊新LC	L遠藤 登 日野LC	L木下知紀 副委員長 世田谷LC	L矢追秀紀 ウエストLC
L若松範彦 新宿LC	L荒牧知子 東京LC	L津守勝男 大森LC	L柴田 誠 SPA 新都心LC
L後藤裕文 担当副幹事 法政LC			

ライオンズ国際協会 330-A地区 ポケットニュース VOL.2 発行人:広報委員会委員長 向井 忠義  
発行:2014年10月 20140719-6 Copyright 2014-15 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.



# Lions Clubs International 330-A POCKET NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区  
ポケットニュースVOL.2

October  
2014

会員募集、  
ライオンズデイを  
成功させよう！



## 特 集

入会者に聞く - 2年～3年目メンバーへインタビュー  
“入会のプロセスを探る”



介護付有料老人ホーム・在宅福祉

シルバービレッジハ王子  
ゆったりと安心の毎日を



JR中央線 八王子駅よりバス5分  
中央自動車道 八王子ICより10分

お問い合わせ・パンフレットのご請求は  
**0120-19-0432**  
<http://www.silvervillage.co.jp/>



シルバービレッジ日野



シルバービレッジハ王子西

株式会社シルバービレッジ  
(一般型特定施設入居者生活介護)  
042-691-8325(代) 東京都八王子市宮下町500

L 石 井 征 二 東京八王子陵東ライオンズクラブ  
TOKYO HACHIOUJI RYOTO LIONS CLUB

# ライオンズディを成功させよう

## ■なぜライオンズディなのか

誰にも誕生日があるようにライオンズクラブ国際協会の誕生日は、10月8日である。1917年のこの日、ライオンズクラブの創始者メルビン・ジョーンズ氏(1879年～1961年)の提唱によってテキサス州ダラスで3日間、第1回世界大会が開催されたことで決められた。

以後、ライオンズクラブ国際協会は、10月8日を「ライオンズディ」とし、約100年もの間、崇高な人道的奉仕の理念をかかげ一致団結を意識して奉仕活動(We Serve)を継続してきた。国籍、主義の異なった、また国境や海、迷信などによって引き離された人々をつなぎより良い世界へ導こうとする信念、すなわちライオニズムという意識でメンバーは結ばれている。

日本では1962年の各地区年次大会および1965年の東洋東南アジア大会でその実施が決議された。さらに、1970年7月マッカロー国際会長が就任あいさつの中で初めて10月8日を「世界ライオンズ奉仕ディ(World Lions Service Day)」として実施することを全世界に訴えた。

それゆえ、10月8日は、ライオンズの誕生日を祝うと同時に初心にかえり、仲間と地域の奉仕について考え、さらなる飛躍を誓う記念日なのである。

## ■ライオンズクラブが目指すもの

現在では、ライオンズクラブが目指すものは多岐に渡っているが、自ら身体にハンディーを持ちながら社会福祉に身を捧げたヘレンケラー女史(1880～1968)がライオンズよ「失明者のために暗闇と闘う盲人の騎士となれ」と訴えた言葉は、今やライオンズクラブの「バイブルのひとつ」となっている。

その意志を継いだ支援活動に「視力プログラム」であり、代表的な支援は、盲人の方が手にしている「白い杖」である。白い杖は、ライオンズクラブの発案であり、奉仕活動の原点ともシンボル的な存在と言うことができる。間もなく100年を迎えるライオンズクラブは新たな100年も奉仕への思いは変わらず、助けを必要とする人々に寄り添い、地域の問題に灯を当て、少しでもその負担を軽くする手助けを続けることを目指している。

【もっと知りたい方は→<http://330a.jp>】

# 330-A地区第一回キャビネット会議

7月28日

2014-2015年度 330-A地区第一回キャビネット会議が7月28日 東京プリンスホテルで開催された。

この度の会議は、塩月藤太郎地区ガバナーの会員増強に関する強い要望により、会員増強をより前面に出した会議となった。各クラブより一名が会員増強委員会に出向しており、委員会登録は212名と増強の意気込みを感じる委員会規模となっている。



## ■ ガバナーの基本方針

(1)330-A地区アクティビティ・スローガン  
「大切にしよう縁と絆でウィサーク」

(2)ガバナーズ・スローガン  
「勇気ある決断をもって前進しよう」

(3)ガバナーズ・テーマ  
「夢 希望 感動」

(4)ガバナーズ・カラー  
レッド系「PANTONE 186C」



## ■ 塩月藤太郎ガバナー挨拶

基本方針として、会員増強と現状会員の維持、オリンピック・パラリンピックへの援助、東北復興の継続的支援、青少年健全育成の援助、薬物乱用防止への取り組み強化、献血・献腎活動の支援などを強調された。地区ガバナーの思いが各リジョン、ゾーンチェアパーソンから各会長・幹事に伝わるような熱いメッセージが込められた挨拶であった。



# LCIF国際理事長セミナー

9月4日



9月4日の四谷付近は、厚い雲に覆われどんよりと曇っていた。セミナー会場のホテルニューオオタニの芙蓉の間は300人を超えるメンバーが集まり、パリー・J・バーマーLCIF理事長への歓迎の熱気で包まれていた。

セミナーは、全世界で行われているLCIF資金を活用した視力回復事業の必要性をDVDで紹介し、続いて理事長の講演が始まった。国際大会同様身振り手振り、そしてジョークを交えた話の内容は、LCIF献金を今以上に行ってもらい、特に日本のライオンズへの期待が大きいことを話していた。LCIF資金が減少傾向の理由として、世界的な会員減に加え、世界最大級の献金国日本が、東日本大震災の影響もあり資金提供が減っていることが挙げられ、また、東日本大震災時にLCIFが多額の支援金を贈ったことで一時的にファンドが減少したことも要因の一つとして述べていた。

これまで恒久的に行っている視力ファーストやカンボジアの地雷除去などがあり、近年の世界的な異常気象によるタイの洪水被害支援、東ティモールの移動デンタルクリニックなど支援活動は世界的に広がり、各地から援助の求める声は数多く寄せられている。LCIF資金が世界のニーズに応えるためにも資金が必要で、各地区100万ドル献金の拠出と個人でのMJF1,000ドル献金の積極的な参加を促し、世界の現状と日本の役割をわかり易く伝える講演だった。

1時間半に及ぶセミナー終了後、理事長夫人アン・バーマーとも同伴して会食が行われ、理事長と記念写真を撮ろうとメンバーの長い列ができ、「ゆっくり食事をさせてほしい」と通訳に窘められるシーンもあり、皆笑顔のうちに15時にお開きとなった。

# 第97回国際大会

## ■「一度は行っておきたい世界大会」

メンバーであればライオンズクラブが国際的な組織であることは周知していると思われる。毎年行われる世界大会への日本からの参加者は意外に少なく、自身が世界一大きな奉仕団体の一員であることを肌で感じるには、世界大会への参加は不可欠である。

本年はカナダのトロントで開催され、連日好天に恵まれてインターナショナルパレードを始め各種セミナーが行われた。参加者はライオンズへの知識を深め、世界のメンバーとの交流を楽しんだ5日間であった。また、世界大会の重要なセレモニーの一つとしては、奉仕活動を通して「誇りを高めよう」のスローガンを掲げた「ジョー・ブレストン国際会長」の誕生とともに330-A地区の新リーダー「塙月藤太郎ガバナー」の就任その瞬間であり、スタートを告ぐる年に一度の大イベントである。

世界大会の報告はこのくらいにするが、ライオン誌が総力を上げて大会全体を取材、豊富な写真入りで8月号に掲載している。ご覧いただき、来年は、ハワイ・オアフ島の世界大会を楽しんでいるあなたと開催地、大会会場でお会いしたいと思っている。



大会を祝ってオバマ大統領のメッセージも届いた



沿道でパレードを楽しむ人々

## ■《お願い》○東日本復興援助品のご購入を○

330-A地区では、東日本大震災被災地復興支援の一環として現地で生産を再開した「笹かまぼことかもめの玉子」のご購入をお願いしています。

クラブの記念行事やゴルフコンペの賞品、家庭用などに是非ご利用いただければと思います。詳細につきましては、東日本復興支援委員会の上田中圭子副委員長(090-3509-3855)までお問い合わせください。



# 特集 「入会のプロセスを探る」①

～入会2年目、3年目のメンバーに聞く～

## ■参加者



今泉 大輔L  
東京ピースLC  
(2年目)



大松澤 実絵L  
東京ピースLC  
(2年目)



熊谷 欣一L  
東京豊新LC  
(3年目)



辻 佳崇L  
東京法政LC  
(2年目)



荒牧 知子L  
ネット参加:東京LC  
(2年目)



## ■目的

入会して2~3年以内のメンバーに、ライオンズクラブに誘われた経緯(いきさつ)やメンバーになろうと決めたポイント、そして活動してクラブの良い部分、改善点などファシリテータを交えて、ディスカッションをする中で入会のプロセスを探り、今どきのクラブライフの動向を知るため開催した。

質問は、5つ

- ①入会前のライオンズクラブの印象について(存在を知っていたか)
- ②誘われた経緯について(スポンサーとの関係など)
- ③入会前の例会訪問(2回)時に感じたこと、入会を決めたポイントについて
- ④入会して良かったこと、今後改善したほうが良いと思うこと
- ⑤友人を誘う場合、ライオンズクラブのセールスポイントは何でしょうか

9月3日水曜日午後15時45分～16時45分 330-A事務局小会議室で座談会形式で皆からコメントを引き出した。以下コメントの要約を記載した。

## ①入会前のライオンズクラブの印象について

(存在を知っていたか)

- ・事業で成功したおじいさん達がホテルでゆったりと食事をしている印象。
- ・ロータリークラブとの違いが判らなかった。
- ・公園のベンチや公共の場所の備品などで、「ライオンズクラブ寄贈」というのを見かけた。漠然と社会奉仕をしているというイメージは持っていた。
- ・交通安全など交差点の看板で名前は知っていた。
- ・地元経営者の集まり、地域貢献をしているイメージを持っていた。

## ②誘われた経緯について(スポンサーとの関係など)

- ・個人的にボランティアをやっていたところ、スポンサーから誘われた。
- ・大学の先輩からの誘い。スキルアップするには良い機会ととらえた。
- ・40代もなかばになり「仕事と家庭だけ」になりがちになっていて、新たな交友関係を作りたいと感じていたところ、飲み屋で大学の先輩と出会い誘われた。
- ・先輩に10年ぶりに業界の交流会で再会し、誘われたので。
- ・音楽関連のボランティアと一緒にやっていてスポンサーのことをよく知ってお誘いを受けた。

## ●(関連Q)入会前に不安はなかった?

- ・活動内容をフェイスブックで見てある程度理解できていたので安心して入会できた。
- ・長く続けたいので、6ヶ月ほどメンバーから活動内容を聞いて時間の制約など負担感がライトであることを確認した。
- ・活動内容が見えなかったので不安だったが、大学の先輩を信頼していたので飛び込んだ。

## ●(関連Q)入会の目的は?

- ・ボランティアをするため。小さい力が集まれば大きいことができるのがライオンズの魅力だった。仕事が翻訳、海外のマーケティング関連なので世界に通じる団体、世界大会に興味がありお手伝いできることがあると感じていた。
- ・出身大学にかかわりが持て、広範囲の世代の方々とお会いしてコミュニケーション力のスキルアップにつながると思った。
- ・JCで社会貢献の大切さを体験していた。45歳を過ぎて仲間が固定化され、新しい人との出会いがあっても良いかと思っていた。ボランティアを長く続けたいと考えた。

# まもなく100年となる歴史と伝統を誇る

1917年10月にアメリカダラスに於いてメルビン・ジョーンズ氏によって設立された

## 世界最大にして、唯一無二の奉仕団体

ライオンズクラブは殆ど全世界にあり、会員数は135万人

## ライオンズクラブは、ただ今会員募集中！

必要且つ素晴らしい奉仕活動なので、一人でも多くの仲間を増やしたい

## あなたも「世界の一員」に！

ご入会と同時に地域、東京、日本、アジア、世界に友達が

### 災害が発生すると同時に行動するライオンズ

奉仕活動に対し歴史と豊富な経験を持つライオンズクラブは、不幸にして災害が起きたときに迅速な対応をします。その一例として広島市の土砂災害に対応した東京レスキューと東京三鷹ライオンズクラブの支援活動を紹介します。



### 広島土石流災害支援活動報告

平成26年8月20日未明、広島県北部の安佐南と安佐北両区の南北約15キロにわたり10か所以上で土砂崩れが発生、多数の住宅が倒壊した。

東京レスキューLCでは、前会長L高橋長生と桶川支部メンバー4名(会長L浦中竜太郎、幹事L大松潔、L井島文年、L松元直樹)が8月26日夕東京を出発、27日早朝に安佐南区の佐東公民館に到着、がれきの処理や段ボールベットの組み立て作業に従事。さらに被災者および支援者、地域の子供達にかき氷500食を提供、避難所には自転車1台を寄贈した。

今回は大都市広島の一部分だったこともあり飲食料、衣料等迅速に避難所に届けられ物不足はなかった。ライオンズクラブの支援は、募金活動等による支援金を贈る方が最良と感じた。

この声を聞いたからではないが、東京三鷹ライオンズクラブは、9月9日(火)JR三鷹駅前で募金を行い集まった善意の義援金316,481円を現地に届けることになっている。

## 特集 「入会のプロセスを探る」②

### ③入会前の例会訪問(2回)時に感じたこと

- ・初回は例会といつても、ちょうどイベント(歌舞伎鑑賞)だったので参加しやすい雰囲気だった。誘われた経緯から、これも何かの「ご縁」と感じたので、自然な流れで入会を決めた。
- ・例会は円滑に運営されていた。お酒が入ってメンバーの楽しいところがわかり親しみやすいと感じた。
- ・幅広い年齢層のメンバーが気軽に話しているところに風通しの良さを感じた。月2回、夜の開催ということで緩やかさが心地良いと感じた。
- ・他の経営者の会と違う雰囲気が良かった。「奉仕する」という目標には肩書きは必要なく、仕事抜きでボランティアに集中できるところが新鮮しかった。

### ●入会を決めたポイント

- ・新しい出会いがあり、ある程度の年会費を支払ったとしても、前向きな人たちに出会えると思ったので。
- ・45歳なって大学の先輩から「入会しろ」と命令されるのもいいかと思った。長く続けられる無理のない活動内容と例会の回数だったので。
- ・例会のペースが「仕事、家庭と共存できる」と思ったので。例会は、ホテル会場とインターネット上のオンラインの2回。フェイスブック、ラインでほとんどの連絡を行っているので負担感があまりない点。人との繋がりやボランティアに興味のある今の世代に、ライオンズの活動の伝え方を工夫すれば人も増えると思う。
- ・「誰とボランティアをやるのか」が入会を決めたポイント。長く続けられることでメンバーの絆が深まり、アクティビティも単発ではなく継続していくことが大切だと思っている。

### ④入会して良かったこと、

#### 今後改善したほうが良いと思うこと

- ・幅広い世代や業種の仲間と会えて、ものの見方が変わったところ。東日本大震災の被災地を訪問したとき、個人ではできない仮設住宅などを訪問し、3年経過した現地のニーズ、現場の声を聴けたところ。(改善点)個の力で入会させているところからクラブとして組織的に誘える方法を検討する段階にきていると思う。
- ・泊りがけで仙台へ復興支援に行き、奉仕を目的にメンバーと一緒に仲良くなれたこと。ライオンズクラブという組織でないと訪問できない場所へ行けたこと。(改善点)もっとアクティビティを盛んに企画したほうが良いと思う。
- ・先輩たちと仲良くできて居心地が良い点。教育という視点で関わり、そのアクティビティの結果が手に取るようにわかること。

- ・同じ組織、職業、趣味、年齢等で構成するクラブの類は多く存在している。ライオンズはまったくそれら属性に拘らず自然な交流を深めていけるのは良いことだと思う。(改善点)多かれ少なかれ存在することであるが、意地の張り合い、派閥意識のようなものが垣間見える点、良識や品位を感じさせるクラブであってほしい。
- ・活動に歴史があるライオンズクラブという基盤の上で信頼感の高いボランティアができていること。(改善点)入会時と活動の目的が変化した場合に、他のクラブに容易に移れる仕組みがあれば、これまで以上に活躍できる場が広がると思う。

### ■人を誘う場合、ライオンズクラブのセールスポイントは何でしょうか。

- ・ボランティアは楽しくないと続けられない。家庭、仕事、社会貢献がバランス良く続けられ、個人でできないこともライオンズならできるところ。
- ・なんとなくボランティアをするのではなく、形になるのが嬉しいところ。
- ・例会を見に来て欲しいですね、パワフルな女性と優しい男性陣に会いに来ませんか、と誘いたいです 小さな力が集まれば大きな力になる点。
- ・様々な人々との交流を深められること。社会奉仕に役立っているという一定の満足感やステータス・信用を得られること。ただし、他に気軽な異業種交流会やインターネットを媒体にしたサークル等が存在し、価値観が多様化した現代に於いて、高い会費を必要とするLCへの入会が若者にとって魅力的かどうかはやや疑問。
- ・社会に出ると利害関係のない友人を得ることは難しい。大人になってからの「友人」つくりができる。同じ目標を持つ仲間でクラブアカティビティを作り上げるのは楽しいということを伝えている。

### ■まとめ

今回、入会2年～3年目のメンバーに入会のプロセスとクラブライフについてインタビューして、ボランティア、奉仕を「個」ではなく「集団、組織」でやることで大きな力となり、効果が得られるという考え方を皆同一に持っていると強く感じた。また、新たな人間関係、友人づくりに关心があり、肩書きなしで一緒に奉仕をして、お酒などが入り楽しい時間の共有も入会時の大きな要因となっていること、すなわち友愛が大切であることを再確認できた。長く続けるために事前の情報収集と誰とボランティアをやるかで楽しい時間をつくられるか見極める時間をしっかり取っている点など興味深いところであった。

「We Serve」の精神は脈々と若い世代に受け継がれ、「新しい仲間」を自信を持って誘いたいと感じた座談会だった。結びに参加者、開催に対して支援を頂いたキャビネット幹事団の皆様に感謝申し上げ、本特集が各クラブの会員増強、活性化につながればありがたいと思う。

# ガバナー公式訪問

## ■ 12Rガバナー公式訪問

9月11日(木)12Rのガバナー公式訪問が開催された。ガバナー公式訪問の事前懇談会では、いつもより強烈な会員増強要請があったが、何とも穏やかで建設的な意見交換の時間が過ぎた。自クラブではどのようにして会員増強をしているか、例会への工夫、入会金の値下げで入会へのハードルを下げた効果やアクティビティ重視のクラブ運営で会員増強が促進など次々と積極的な運営の報告がなされた。12Rに限ったことだと思い、塩月ガバナーに質問すると「いやどこのガバ公も同じ」との回答。なんと素晴らしいことだろう。みんなが「会員増強」を理解し、そう想い、実行している。「言われたからやる」ではなく、「自分たちは何をなすべきか」をきちんと把握できている。これでこそ「ライオンズ」ではあるまい。

## ■ 2Rガバナー公式訪問



9月5日(金)ロイヤルパークホテルにて2Rのガバナー公式訪問が開催された。事前懇談会では、RCP、L辰巳哲郎(京橋LC)の開会あいさつに続き、塩月ガバナーの挨拶があり会員増強について強く説明協力を求め、各15クラブが現状・会員増強の取り組みについて報告した。期末目標会員数が全体で増強100名強であったがガバナーの「家族も正会員である」の言葉に家族会員の増強を考えるクラブが見受けられた。八丈島LC主催の八丈島ふれあいコンサート(6月12日～14日)をリジョンで協力する事になった。

合同例会ではガバナーから新入会員出席者にバッヂが手渡された。テール・ツイスター・タイムでは各クラブの震災復興支援活動、催事報告があり、最後に在籍元ガバナー三名と第二副地区(数寄屋橋LC)、塩月ガバナーキャビネット三役でライオンズロアを行い、全員で“また会う日まで”を合唱し閉会した。

## ■ 8Rガバナー公式訪問



9月8日(月)池袋メトロポリタンホテルに於いて8Rガバナー公式訪問が開催された。事前懇談会では、15のクラブ会長・幹事から現状とアクティビティの内容についてキャビネット三役、第一、第二副地区ガバナーに報告がなされた。

課題の会員増強について、多くのアクティビティを企画して入会希望者を募っているクラブや、「楽しくないとライオンズではない」とドンペリ・ステーキ例会、定期的なゴルフ会など趣向を凝らし、新人発掘をしているクラブ、そして近隣のクラブ・NPOと連携して人的な交流を深めているクラブなど、8Rが活性化し、会員増強するための有意義な情報交換が行われた。

## ■ 14Rガバナー公式訪問

9月9日(火)昭島市のフォレスト・イン昭和館に於いて14R 1Z・2Z合同のガバナー公式訪問合同例会が開催された。

事前懇談会には塩月藤太郎ガバナー・近藤正彦第一副地区ガバナー・村木秀之第二副地区ガバナー・梶原正和キャビネット幹事の下、1Z(6クラブ) 2Z(5クラブ)の会長幹事による活発な意見交換が行われた。塩月藤太郎ガバナーより本年度の運営方針が話され、特に会員(家族会員・賛助会員)を倍増させ正会員へ導いて欲しいと、お願いがあった。合同例会は第2Z・ZCP、L伏見博志の開会挨拶に始まり、懇親会では、他クラブとの名刺交換をする風景があちらこちらに見えた。また各クラブ、ガバナーと共に写真撮影を行い、キャビネット幹事のライオンズ・ロア、そして、また会う日までを歌い、充実した時間を過ごした。

# クラブアクティビティ

## ■ 表参道:原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2014でパフォーマンス披露

8月23日(土),24日(日)『原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2014』が開催され、渋谷区内の小中学校親子とクラブサポーターメンバーで出演した。当日まで、親子で練習、一緒に衣装を作ることなどで「絆を深める」機会となった。出演に際して渋谷区教育委員会からの推薦を頂き、約80万人の沿道の声援に皆のモチベーションは高まり、参加の男女42名は鳴子、扇子、口上、旗、アコバットを演舞に取り入れ、二日間六か所(原宿駅、代々木公園、明治神宮などのステージ)で演技した。その後、櫻(けやき)並木の表参道アベニューでパフォーマンスを披露できるチームの中に選ばれ、喜びを身体いっぱいに表現し、元氣祭りを楽しんだ。



## ■ 神楽坂:大船渡市の保育園児への絵本支援活動



津波で大切な絵本をすべて流されてしまった大船渡市の子供たちに、絵本を届ける活動を始めで今年で4回目(11月予定)。

7月の神楽坂まつりと11月に行うファミリーナイトでの収益を、一冊でも多くの絵本に換えて、大船渡市の13の保育園に届けたい。

今年も、神楽坂からの思いが、園児たちの夢と笑顔につながりますように。



## ■ 六本木:麻布十番納涼まつり

「麻布十番納涼まつり」(8月23日、24日)開催期間中に、東京六本木ライオンズクラブは、「抽選会」と「夏休み親子なんでも相談室」を開催した。前者は、テレビ朝日福祉文化事業団主催のトウレヴァンコンセルト(身障者の方々が社会に進出していけるようにという願いを込め、視覚障害を持った著名な音楽家による演奏会)支援の募金活動。後者は、夏休みの親子の悩み相談会。

なお、広島の土砂災害被災者支援の募金活動も同時に行つた。  
皆様の協力を得て、無事、募金活動を終了した。



# 会長会

8月27日



2014年8月27日水曜日15時30分～ 憲政記念館で第一回クラブ会長会議が開催された。

約200名のクラブ会長とキャビネット役員が一同に会し、塩月ガバナーの挨拶の後、国際本部の会員増強の動向、GMTチーム、GLTチーム、そして各委員会から一年間の活動について発表され、質疑応答後閉会となった。

吉田会計事務所

税理士 吉田 實

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目27番8号

太陽館ビル

電話 03-3813-9502

03-3813-9521

FAX 03-3814-6141



## YCE生受け入れと今後について



### ■ ホストファミリーを引き受け…

2014年夏、初めてホストファミリーを引き受けたことになった。きっかけは、今年高校生になった長女が、外国に留学したいという希望を持っていることを知り、いつかチャンスがあればライオンズのプログラムで海外に独りで出してホームステイを体験させてみたいと考えたからである。

さて、この夏YCE生として迎え入れたのは欧州の“スロバキア”からの18歳の女の子である。“スロバキアとはどのような国なのか?”ということでこの国を知ることになるのだが、自クラブの例会でもYCE生“アンドレア・マコバ”を連れて行って、スロバキアと自身が住むホームタウンそして民族衣装に身をまとった家族を写真等で紹介してくれ、クラブメンバーの関心を誘った。ホストファミリーも短い滞在期間ではあったが、すっかり家族のように親しくなったYCE生の住むスロバキアいつかぜひ行ってみたいと考えるようになり、帰国するYCE生を家族全員で空港まで送り別れを惜しんだ。家内や子供たちばかりではなく私自身も貴重な体験をした。YCE生自身も盛りだくさんのキャンプでのプログラムや家族と共に体験した東京での生活に、帰国後のメールメッセージによると「ホームタウンが異国のように感じる…」との感想を知ってきた。わずか一か月の滞在中の出来事はとても狭い紙面では語りつくせない。（L柴田 誠 新都心LC）

A	介助犬・盲導犬支援(社会福祉)	D	震災復興・災害援助(環境・災害対応)
B	障がい者スポーツ支援(オリンピックパラリンピック)	E	献血呼びかけ(生命)
C	YCE交換留学生(国際交流)	F	薬物乱用防止教室(青少年育成)

ジョー・ブレストン国際会長テーマ

# Ask one 一人が一人を誘おう！

ACスローガン

**Strengthen the Pride  
誇りを高めよう！**

34年ぶり、我々日本ライオンズクラブの悲願であり夢であった、世界135万人の頂点に日本から国際会長の誕生です。

我々日本ライオンズは、会員を増強し、日本の底力を世界にアピールして、ハワイで日の丸を高々と掲げましょう。

会員増強による「数の力」でWe serveを拡大し、社会から喜ばれ感動される誇りある奉仕活動に励みましょう。

GMT第五会則地域副リーダー

東洋東南アジア地区(日本担当)

元国際理事 山浦 晟暉(東京新宿LC所属)

证明写真機設置のご案内

株式会社 東京富士カラー TEL 03-3378-2111 営業時間 9:00~18:00 (土曜日・日曜日を除く)

準備金ゼロ メンテナンス不要 省スペース

履歴書用 パスポート用 免許証用

不景気でも、高需要の証明写真

東京本社 大阪支社

〒164-0012 東京都中野区本町2-29-12 〒533-0012 大阪市東淀川区東中島1-17-5 スチューディオ大阪  
TEL 03-3378-2111 FAX 03-3378-2112 TEL 06-6325-5621 FAX 06-6325-8801  
<http://www.tokyofujicolor.co.jp/>

